



2026年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年7月15日

上場会社名 株式会社 日本色材工業研究所
コード番号 4920 URL <https://shikizai.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役企画・経理部長
配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3456-0561

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第1四半期の連結業績(2025年3月1日～2025年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期第1四半期	3,976	19.4	86	68.8	75	71.1	50	65.4
2025年2月期第1四半期	4,931	34.1	276	62.2	262	64.3	146	4.8

(注) 包括利益 2026年2月期第1四半期 10百万円 (%) 2025年2月期第1四半期 231百万円 (28.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期第1四半期	24.19	
2025年2月期第1四半期	69.88	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期第1四半期	17,006	3,751	22.1
2025年2月期	16,889	3,804	22.5

(参考) 自己資本 2026年2月期第1四半期 3,751百万円 2025年2月期 3,804百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		0.00		20.00	20.00
2026年2月期					
2026年2月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,429	11.3	140	71.3	77	81.9	29	88.1	14.30
通期	16,877	4.3	411	15.9	276	24.7	411	90.1	196.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年2月期1Q	2,099,376 株	2025年2月期	2,099,376 株
期末自己株式数	2026年2月期1Q	3,596 株	2025年2月期	3,596 株
期中平均株式数(四半期累計)	2026年2月期1Q	2,095,780 株	2025年2月期1Q	2,095,780 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき記載しております。実際の業績は、今後様々な要因により予想とは異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3の「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2025年3月1日～2025年5月31日）におけるわが国の経済は、回復基調にあるものの、インフレによる実質賃金の伸び悩みで個人消費が力強さを欠き、緩やかなものに留まっております。海外各国は、欧米ではインフレ減速と金融政策の緩和を背景に緩やかな成長基調にあるのに対し、中国経済は引き続き不動産不況を背景に内需が低迷して成長に減速が見られるなど、地域間の跛行性が見られます。また、ロシアによるウクライナ侵攻が長期化する中で中東情勢が再度緊迫化するなど地政学的リスクは高止まり、米国の政権交代をきっかけに通商政策を始めとした各国の政策リスクも上昇しております。加えて、資源・エネルギー価格の上昇・変動やインフレ、金利・為替・株式相場の変動などが経済活動に影響を及ぼすと共に先行き不透明感を高めております。

化粧品業界におきましては、国内では、新型コロナウイルス（COVID-19）禍明けのメイクアップ製品を中心とした新製品受注の波は前連結会計年度下期に沈静化しましたが、緩やかな需要の回復・改善傾向が続いております。海外においても、化粧品需要は緩やかながら改善の傾向にあるものと思われまます。

当社グループにおきましては、国内では前連結会計年度下期に新製品の受注の波が沈静化した水準から堅調に推移、生産設備の稼働も堅調さを保っておりますが、欧州では医薬品・化粧品共に受注は軟調に推移しております。また、特に国内での採用難による工数不足をまかなうための外注加工費の上昇や、原材料費や各種経費等もインフレで上昇していることから、各種コストの圧縮努力を継続し、収益性の維持・改善に取り組んでおります。

今後も、化粧品需要の緩やかな回復・成長基調は継続していくと思われまますが、全般的なインフレ、採用難や人件費上昇、金利や為替の変動等も継続しており、ロシアのウクライナ侵攻や中東情勢のような地政学的リスクや米国の通商政策のような各種政策リスクも高止まりしていることから、引き続き経済全般の先行き不透明感は残ります。そのような経営環境下、黒字の継続と成長に向けて「中期事業戦略ビジョン(2022-2026)」の諸施策を着実に実行してまいります。お客様の新製品ニーズに対応した処方のご提供や生産対応などの要請に応え、中長期的には化粧品へのクリーン・ビューティー、SDGs等への対応といった当社の強みを更に強化するなど、変化し続ける環境で強みを活かして業績の改善を図るべく更なる努力を重ねてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における経営成績は次のとおりとなりました。

売上高は、国内における前連結会計年度の新型コロナウイルス禍明けの新製品の受注の波や大口受注の沈静化や、フランス連結子会社における医薬品・化粧品受注の伸び悩みもあって、前年同期比19.4%減の3,976百万円となりました。

利益面では、国内において受注減により生産設備の稼働水準が低下している中、原材料費や人件費、各種経費等がインフレで上昇、フランス連結子会社においても医薬品・化粧品受注の伸び悩みにより業績低迷が続いていることもあって、営業利益は前年同期比68.8%減の86百万円、経常利益は前年同期比71.1%減の75百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比65.4%減の50百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における所在地別セグメントの業績の概況は、次のとおりです。

（日本）

前連結会計年度の新型コロナウイルス禍明けの国内・海外化粧品メーカー各社からの新製品の受注の波や大口受注が沈静化した影響もあり、売上高は前年同期比22.4%減の2,899百万円となりました。利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等による諸費用が高止まり、加えて原材料費や人件費、各種経費等もインフレで上昇している中で、受注水準低下に伴い生産設備の稼働も低下、各種コスト圧縮努力を継続しましたが、営業利益は前年同期比54.0%減の152百万円となりました。

（仏国）

子会社THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S.（以下「テプニエ社」）と子会社Nippon Shikizai France S.A.S.（以下「日本色材フランス社」）の所在する欧州は、当第1四半期連結累計期間（1～3月）において、景気は緩やかな回復基調にありますが医薬品及び化粧品の受注は低迷、売上高はユーロ建て・円建て共に減収、前年同期比9.5%減の1,099百万円となりました。利益面では、売上高の減収と人件費や諸物価の高騰に加えて、テプニエ社の一部設備稼働の遅れや日本色材フランス社の稼働低迷もあり、69百万円の営業損失（前年同期は54百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、117百万円増加し、17,006百万円となりました。総資産の増加は、流動資産が232百万円増加、固定資産が114百万円減少したことによるものであります。流動資産の主な増加要因は、棚卸資産が295百万円、電子記録債権が128百万円増加し、受取手形及び売掛金が178百万円、現金及び預金が75百万円減少したことによるものであります。固定資産の主な減少要因は、建物及び構築物が102百万円、機械装置及び運搬具が71百万円減少し、建設仮勘定が101百万円増加したことによるものであります。

一方、負債合計は、前連結会計年度末に比べ、170百万円増加し、13,255百万円となりました。負債合計の増加は、流動負債が720百万円増加、固定負債が550百万円減少したことによるものであります。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が462百万円、賞与引当金が118百万円、電子記録債務が98百万円増加したことによるものであります。固定負債の主な減少要因は、長期借入金が543百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ、52百万円減少し、3,751百万円となりました。主な減少要因は、その他の包括利益累計額合計が61百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年2月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日に公表いたしました連結業績予想から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949,024	873,698
受取手形及び売掛金	2,701,470	2,523,193
電子記録債権	202,637	330,930
棚卸資産	2,562,269	2,858,147
その他	322,017	380,951
貸倒引当金	△2,651	—
流動資産合計	6,734,766	6,966,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,869,053	4,766,154
機械装置及び運搬具（純額）	1,831,104	1,759,300
土地	2,028,486	2,028,217
建設仮勘定	193,408	295,298
その他（純額）	458,812	434,382
有形固定資産合計	9,380,866	9,283,355
無形固定資産	226,271	220,380
投資その他の資産		
投資有価証券	259,060	255,739
その他	291,160	283,183
貸倒引当金	△2,727	△2,680
投資その他の資産合計	547,494	536,242
固定資産合計	10,154,631	10,039,978
資産合計	16,889,398	17,006,899
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	754,979	809,385
電子記録債務	990,634	1,089,344
短期借入金	3,020,834	3,483,595
賞与引当金	74,974	193,083
役員賞与引当金	19,000	—
その他	1,384,784	1,390,793
流動負債合計	6,245,206	6,966,202
固定負債		
長期借入金	6,335,667	5,792,211
役員退職慰労引当金	146,430	146,430
退職給付に係る負債	67,311	71,542
その他	290,715	279,002
固定負債合計	6,840,124	6,289,186
負債合計	13,085,331	13,255,388
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,510,339	1,510,339
利益剰余金	1,718,780	1,727,567
自己株式	△3,983	△3,983
株主資本合計	3,325,135	3,333,923
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	97,850	94,435
為替換算調整勘定	381,079	323,151
その他の包括利益累計額合計	478,930	417,587
純資産合計	3,804,066	3,751,510
負債純資産合計	16,889,398	17,006,899

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 （四半期連結損益計算書）
 （第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
売上高	4,931,954	3,976,224
売上原価	4,213,168	3,392,279
売上総利益	718,786	583,945
販売費及び一般管理費	441,787	497,560
営業利益	276,999	86,384
営業外収益		
受取利息	0	—
受取配当金	1,993	1,492
為替差益	7,487	19,398
受取家賃	5,351	6,540
雑収入	7,405	4,190
営業外収益合計	22,237	31,620
営業外費用		
支払利息	36,692	42,013
営業外費用合計	36,692	42,013
経常利益	262,544	75,991
特別利益		
固定資産売却益	518	—
特別利益合計	518	—
特別損失		
固定資産除却損	0	71
特別損失合計	0	71
税金等調整前四半期純利益	263,063	75,920
法人税、住民税及び事業税	3,873	33,016
法人税等還付税額	—	△14,747
法人税等調整額	112,734	6,948
法人税等合計	116,608	25,217
四半期純利益	146,454	50,702
親会社株主に帰属する四半期純利益	146,454	50,702

（四半期連結包括利益計算書）
（第1四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）
四半期純利益	146,454	50,702
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	18,120	△3,415
為替換算調整勘定	66,450	△57,928
その他の包括利益合計	84,570	△61,343
四半期包括利益	231,024	△10,640
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	231,024	△10,640
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年5月31日)
減価償却費	214,612千円	222,809千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2024年3月1日 至 2024年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	2,757,920	727	2,758,647	△727	2,757,920
日本以外向け	979,337	1,213,969	2,193,307	△19,272	2,174,034
顧客との契約から生じる収益	3,737,258	1,214,696	4,951,954	△19,999	4,931,954
外部顧客への売上高	3,717,985	1,213,969	4,931,954	—	4,931,954
セグメント間の内部売上高又は 振替高	19,272	727	19,999	△19,999	—
計	3,737,258	1,214,696	4,951,954	△19,999	4,931,954
セグメント利益又は損失（△）	331,889	△54,436	277,452	△453	276,999

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額△453千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	仏国	計		
売上高					
日本向け	2,102,898	—	2,102,898	—	2,102,898
日本以外向け	796,706	1,099,732	1,896,439	△23,113	1,873,326
顧客との契約から生じる収益	2,899,605	1,099,732	3,999,337	△23,113	3,976,224
外部顧客への売上高	2,876,491	1,099,732	3,976,224	—	3,976,224
セグメント間の内部売上高又は 振替高	23,113	—	23,113	△23,113	—
計	2,899,605	1,099,732	3,999,337	△23,113	3,976,224
セグメント利益又は損失（△）	152,806	△69,245	83,561	2,823	86,384

（注）1. セグメント利益又は損失の調整額2,823千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。